

平成29年度 会派調査研究報告書

(視察先1か所につき1枚)

会派名	葎 真 ク ラ ブ	
出席者	宮川文憲 高添秀明 一木長博 田原一孝 内藤正之 浅川裕康	
事業名	議会広報活動について	
事業区分	①研究研修	②調査

1. 葎崎市での課題と研修・調査の目的

本市においては、現在まで、数多くの議会改革を重ねてきたが、市民からは、未だ「議員の日頃の活動がわかりにくい」という声が聞こえてくる。議会だよりや議員個人が発行する広報などで日頃の活動を伝えてきてはいるが、まだまだである。葎真クラブでは、会派として広報を発刊しているが、その内容等は改善の余地がある。広報活動に注力している小諸市会派の話聞く中で、今後の議会広報活動の一助としたい。

2. 実施概要

実施日時	平成30年1月19日(金) 13:30 ~ 15:00
視察先	長野県小諸市
担当部局	小諸市議会 会派「市誠会」
報告内容	<p>小諸市議会は、全ての会派ならびに会派に属さない議員であっても、個人として広報を発刊して、市民に活動を周知している全国的に珍しい議会である。また、この活動は、今現在にとどまらず、過去の議会においても同様のことであるとのことであった。小諸市においては、広報活動に歴史があり、また、文化として根付いているとも思われる。そのような議会であるからこそ、今回、当会派が視察研修先に選んだという経緯でもある。</p> <p>「市誠会」の所属議員は、全議員が1期目の会派であった。そのため、広報活動も新しく斬新な目線で、注力されていた。どのような点に力点を置いているかについては、読み手視点に立った広報、つまり、読みやすさである。写真の活用や色の使い方、字体や文字の大きさ、そして各種記載内容の配置バランスに気を遣っているとのことであった。これらは、議員の専門事項ではないことから、記載内容を決定した後は、業者にデザインを依頼し、読みやすい広報になるようお願いしているとのことであった。</p> <p>記載内容については、やはり、市民の関心事項である市政一般に対する質問ならびに執行部答弁を中心とし、簡易平明な記載を心掛けているとのことであった。</p>

1. 運営状況

当会派「葦真クラブ」所属議員6名および小諸市議会会派「市誠会」所属議員4名の合計10名が出席し、会派同士、議員同士だけの参加ということから、終始、和やかな雰囲気の中での研修となった。「市誠会」会長あいさつ、当会派会長あいさつの後、「市誠会」の担当者から説明をいただいた。説明の後、質疑の時間にあたっては、発刊部数や発刊地域、掲載内容について、また掲載内容を決定するにあたっての議論の在り方など多くの質問がなされ、「市誠会」から丁寧かつ率直な回答をいただいた。質疑の後には、当会派で発行する広報をお渡しし、様々なご意見、ご指摘をたまわると、互いに発刊にあたっての苦労などについて共有を図り、「市誠会」においても参考にしていきたい旨の回答をいただくこともできた。閉会にあたり、当会派から謝辞を述べ、散会となった。

2. 考察（これらの取り組みを葦崎市にどう活かせるか）

葦崎市議会においても、広報を発刊してはいるが、小諸市議会ほどに定着しているわけではない。当会派においても、今後において、「市誠会」のご意見を参考にし、市政一般の質問ならびに執行部答弁の記載を充実させ、読み手が分かりやすい充実した記載内容となるよう研究を重ねていきたい。そして、市民から、「議員さんの日頃の活動がわかるようになった。」との声が聞こえてくるよう、議会広報活動に努めていきたいと考える。

